

9.2 性能照査	998	15.5.2 偶発対応施設の堤防	1028
10 防潮堤	999	16 突堤	1029
10.1 一般	1001	17 胸壁	1030
10.2 配置	1001	17.1 一般	1030
10.3 基本断面の設定	1001	17.2 基本断面の設定に関して配慮すべき事項	1031
10.4 作用と性能照査	1002	17.3 胸壁の天端高の設定	1031
11 導流堤	1004	17.4 作用	1031
11.1 一般	1004	17.5 性能照査	1031
11.2 性能照査	1005	17.5.1 性能照査	1031
12 水門	1006	17.5.2 偶発対応施設の胸壁	1032
12.1 一般	1008	18 埋没対策施設	1033
12.2 水門の配置・規模の設定	1009	18.1 総説	1033
12.3 水門の性能照査	1009	18.2 漂砂あるいは河川流下土砂を捕捉する ための施設	1034
13 閘門	1011	18.3 飛砂防止工	1035
13.1 一般	1011	18.3.1 一般	1035
13.2 閘門の配置・規模の設定	1012	18.3.2 工法の選定	1036
13.3 閘門の構造及び性能照査	1013	第5章 係留施設	1038
14 護岸	1015	1 総説	1038
14.1 一般	1016	1.1 係留施設の目的	1038
14.2 基本断面の設定に関して配慮すべき事項	1016	1.2 総論	1038
14.3 埋立造成と護岸築造に関して留意 すべき事項	1017	1.3 係留施設の規模及び配置	1038
14.4 護岸の天端高の設定	1018	1.4 係留施設の構造形式の選定	1039
14.5 作用	1021	1.5 耐震強化施設に関する留意点	1048
14.6 性能照査	1021	2 岸壁	1052
14.6.1 共通	1021	2.1 岸壁に共通する事項	1052
14.6.2 重力式護岸の性能照査	1023	2.1.1 岸壁の諸元	1055
14.6.3 矢板式護岸の性能照査	1024	2.1.2 洗掘防止工	1060
14.6.4 セル式護岸の性能照査	1024	2.1.3 生物共生型岸壁	1060
14.6.5 捨石式護岸の性能照査	1024	2.2 重力式係船岸	1062
14.6.6 消波ブロック被覆護岸の性能照査	1024	2.2.1 一般	1062
14.6.7 偶発対応施設の護岸	1024	2.2.2 作用	1064
14.6.8 構造細目	1024	2.2.3 性能照査	1069
14.7 生物共生型護岸	1025	2.2.4 地震時における施設の変形量に対する 性能照査	1075
14.8 親水性護岸	1026	2.2.5 セルラブロックの性能照査	1077
15 堤防	1027	2.2.6 構造部材の性能照査	1079
15.1 一般	1027	2.2.7 構造細目	1080
15.2 基本断面の設定に関して配慮すべき事項	1027	2.3 矢板式係船岸	1082
15.3 堤防の天端高の設定	1027	2.3.1 一般	1085
15.4 作用	1027	2.3.2 矢板式係船岸を軟弱地盤に対して 設置する際の留意事項	1086
15.5 性能照査	1028	2.3.3 断面諸元の仮定	1087
15.5.1 性能照査	1028		

2.3.4 作用	1089	2.10 置きセル式係船岸	1173
2.3.5 矢板壁に関する性能照査手法の種類	1092	2.10.1 一般	1173
2.3.6 矢板壁断面の剛性の影響を考慮した性能照査	1097	2.10.2 作用	1174
2.3.7 矢板壁の全体安定性に関する性能照査	1098	2.10.3 断面諸元の設定	1175
2.3.8 腹起しの応力に関する性能照査	1107	2.10.4 性能照査	1175
2.3.9 控え工に関する性能照査	1108	2.10.5 構造部材の性能照査	1178
2.3.10 レベル2地震動に関する偶発状態における性能照査	1114	2.11 直立消波式係船岸	1178
2.3.11 上部工の性能照査	1115	2.11.1 一般	1178
2.3.12 構造細目	1116	2.11.2 性能照査	1180
2.4 自立矢板式係船岸	1120	3 係船浮標	1185
2.4.1 一般	1120	3.1 性能照査の基本	1186
2.4.2 作用	1122	3.2 作用	1188
2.4.3 性能照査	1123	3.3 係船浮標各部の性能照査	1189
2.4.4 構造部材の性能照査	1126	3.4 構造部材の性能照査	1193
2.5 斜め控え杭矢板式係船岸	1126	4 係船くい	1194
2.5.1 一般	1126	5 栈橋	1195
2.5.2 作用	1128	5.1 栈橋に共通する事項	1195
2.5.3 性能照査	1128	5.1.1 栈橋の諸元	1198
2.5.4 構造部材の性能照査	1128	5.1.2 生物共生型栈橋	1199
2.6 前方斜め支え杭矢板壁を有する係船岸	1129	5.2 直杭式横栈橋	1199
2.6.1 一般	1129	5.2.1 一般	1199
2.6.2 配置及び諸元	1131	5.2.2 基本断面の設定	1201
2.6.3 作用	1131	5.2.3 作用	1205
2.6.4 性能照査	1131	5.2.4 直杭式横栈橋に関する性能照査	1210
2.6.5 構造部材の性能照査	1132	5.2.5 レベル2地震動に対する偶発状態における性能照査	1215
2.7 二重矢板式係船岸	1133	5.2.6 構造部材に関する性能照査	1217
2.7.1 一般	1134	5.3 斜め組杭式横栈橋	1218
2.7.2 作用	1136	5.3.1 一般	1218
2.7.3 性能照査	1136	5.3.2 基本断面の設定	1219
2.8 棚式係船岸	1138	5.3.3 作用	1220
2.8.1 一般	1139	5.3.4 斜め組杭式横栈橋に関する性能照査	1221
2.8.2 断面諸元の設定	1142	5.3.5 レベル2地震動に対する偶発状態における性能照査	1222
2.8.3 作用	1142	5.3.6 構造部材の性能照査	1222
2.8.4 性能照査	1144	5.4 格点ストラット式栈橋	1223
2.8.5 構造部材の性能照査	1146	5.4.1 一般	1223
2.9 根入れを有するセル式係船岸	1147	5.4.2 作用	1223
2.9.1 一般	1149	5.4.3 性能照査	1223
2.9.2 作用	1152	5.5 ジャケット式栈橋	1224
2.9.3 換算壁体幅の設定	1153	5.5.1 一般	1224
2.9.4 性能照査	1154	5.5.2 作用	1225
2.9.5 構造部材の性能照査	1172	5.5.3 性能照査	1225
		5.6 ドルフィン	1225

5.6.1 一般	1225	9.2.4 性能照査	1266
5.6.2 配置	1226	9.3 潜り止め	1268
5.6.3 作用	1227	9.3.1 一般	1268
5.6.4 性能照査	1228	9.4 照明設備	1269
5.7 デタッチドピア	1229	9.4.1 一般	1269
5.7.1 一般	1229	9.4.2 照明に関する性能照査項目	1269
5.7.2 基本断面の設定	1230	9.4.3 基準照度	1269
5.7.3 作用	1230	9.4.4 照度分布に関する性能照査	1275
5.7.4 性能照査	1231	9.4.5 グレア(まぶしさ)に関する性能照査	1275
5.7.5 構造部材の性能照査	1231	9.4.6 光色及び演色性に関する性能照査	1275
5.7.6 構造細目	1232	9.4.7 障害光及び省エネルギーに関する性能照査	1276
6 浮棧橋	1233	9.4.8 光源の選定	1276
6.1 性能照査の基本	1235	9.4.9 器具の選定	1278
6.2 基本断面の設定	1239	9.4.10 維持管理	1281
6.3 作用	1240	9.5 階段及びはしご	1282
6.4 性能照査	1241	9.5.1 一般	1282
6.5 構造細目	1248	9.5.2 性能照査	1282
7 物揚場	1249	9.6 救命設備	1283
7.1 一般	1249	9.6.1 一般	1283
7.2 作用	1249	9.7 車止め	1284
7.3 性能照査	1249	9.7.1 一般	1284
8 船揚場	1250	9.7.2 性能照査	1284
8.1 性能照査の基本	1250	9.8 車両の乗降設備	1286
8.2 性能照査	1251	9.8.1 一般	1286
8.3 設置位置の選定	1251	9.9 給水設備	1288
8.4 各部の諸元	1252	9.9.1 一般	1288
8.4.1 供用性に関する規定	1252	9.10 排水設備	1289
8.4.2 各部の高さ	1253	9.10.1 一般	1289
8.4.3 船揚場延長及び背后面積	1253	9.11 給油設備及び給電設備	1290
8.4.4 前面水深	1253	9.11.1 一般	1290
8.4.5 斜路の勾配	1254	9.12 人の乗降設備	1291
8.4.6 前面の泊地面積	1254	9.12.1 一般	1291
8.5 揚陸部の壁体及び舗装	1255	9.13 柵、扉、ロープ等	1292
8.5.1 揚陸部の壁体	1255	9.13.1 一般	1292
8.5.2 舗装工	1255	9.14 監視設備	1293
9 係留施設の附帯設備等	1257	9.14.1 一般	1293
9.1 係船柱及び係船環	1257	9.15 便所	1293
9.1.1 性能照査の基本	1257	9.15.1 一般	1293
9.1.2 係船柱及び係船環の配置	1257	9.16 標識等	1294
9.1.3 作用	1259	9.16.1 標識及び標示の設置	1294
9.1.4 性能照査	1260	9.16.2 標識等の様式及び設置場所	1294
9.2 防衝設備	1262	9.16.3 標識の設置位置	1302
9.2.1 性能照査の基本	1262	9.16.4 標識の構造	1304
9.2.2 防舷材の配置	1264		
9.2.3 作用	1265		

9.16.5 材料	1307	4.1 一般	1369
9.16.6 維持管理	1307	4.2 規模及び設置場所の検討	1369
9.16.7 防護柵	1309	4.3 性能照査	1369
9.16.8 バリケード	1309	5 橋梁	1374
9.17 消防設備及び警報設備	1309	5.1 一般	1375
9.17.1 一般	1309	5.2 性能照査の基本	1375
9.18 エプロン	1310	5.3 耐久性の確保	1377
9.18.1 一般	1310	5.4 防衝設備の性能照査	1377
9.18.2 エプロンの諸元	1310	6 運河	1380
9.18.3 性能照査	1311	6.1 一般	1380
9.19 荷役機械の基礎	1329	6.2 性能照査	1380
9.19.1 一般	1330	7 鉄道	1381
9.19.2 作用	1334	7.1 一般	1381
9.19.3 基礎杭を用いる場合の性能照査	1335	7.2 性能照査	1381
9.19.4 基礎杭を用いない場合の性能照査	1336	8 ヘリポート	1382
9.20 取付部	1338	8.1 一般	1382
9.20.1 一般	1338	第7章 荷さばき施設	1383
9.20.2 前面水深が変化する部分に関する留意事項	1339	1 総説	1383
9.20.3 異なる施設が接続する部分に関する留意事項	1340	1.1 総説	1383
9.20.4 隅角部に関する留意事項	1340	2 固定式荷役機械及び軌道走行式荷役機械	1384
10. 海洋再生可能エネルギー発電設備等の係留施設	1346	2.1 一般	1385
10.1 性能照査の基本	1349	2.2 コンテナクレーン	1387
第6章 臨港交通施設	1350	2.2.1 一般	1387
1 総説	1350	2.2.2 性能照査の基本	1387
1.1 標識及び標示等	1350	2.2.3 耐震性能照査	1387
2 港湾の道路	1351	2.2.4 風による逸走を防止するための適切な機能	1391
2.1 性能照査の基本	1352	2.3 アンローダ	1392
2.2 車道及び車線	1353	2.3.1 一般	1392
2.3 建築限界	1359	2.3.2 性能照査の基本	1392
2.4 曲線部の拡幅	1359	2.3.3 耐震性能照査	1393
2.5 縦断勾配	1360	2.3.4 風による逸走を防止するための適切な機能	1393
2.6 平面交差	1360	2.4 ローディングアーム (固定式荷役機械)	1393
2.7 舗装の性能照査	1360	2.4.1 一般	1393
3 水底トンネル	1362	2.4.2 性能照査の基本	1394
3.1 一般	1363	2.4.3 性能照査	1395
3.2 性能照査の基本	1364	2.5 石油の輸送に用いるゴムホース (固定式荷役機械)	1396
3.3 基本断面の設定	1365	2.5.1 一般	1396
3.4 性能照査	1366	2.5.2 性能照査	1397
3.5 構造細目	1368	2.6 石油、LPG、LNG 導管等 (固定式荷役機械)	1397
4 駐車場	1369		

2.6.1 一般	1397	1.2.4 自動化・遠隔操作化された移動式荷役 機械の導入にあたっての留意点	1416
2.6.2 性能照査	1398	1.2.5 自動化・遠隔操作化された移動式荷役 機械の維持管理	1416
2.7 固定式荷役機械及び軌道走行式荷役機械 の維持管理	1398	2 移動式旅客乗降用施設	1417
3 荷さばき地	1400	2.1 一般	1418
3.1 一般	1401	2.2 性能照査の基本	1418
3.2 木材の整理のための荷さばき地	1402	2.3 性能照査	1419
3.3 水産物荷さばき施設	1402	2.4 附帯設備	1419
3.4 危険物荷さばき施設	1402	第11章 その他の港湾施設	1420
3.5 コンテナターミナルエリア	1403	1 旅客乗降用固定施設	1420
4 上屋	1404	2 廃棄物埋立護岸	1422
4.1 一般	1404	2.1 一般	1422
第8章 保管施設	1405	2.2 廃棄物埋立護岸の目的及び種類	1423
1 総説	1405	2.2.1 安定型廃棄物埋立護岸	1423
2 倉庫	1406	2.2.2 管理型廃棄物埋立護岸	1423
3 野積場	1407	2.2.3 遮断型廃棄物埋立護岸	1424
4 貯木場	1408	2.3 性能照査の基本	1425
5 貯炭場	1409	2.4 性能照査	1425
6 危険物置場	1410	3 海浜	1428
7 貯油施設	1411	3.1 一般	1428
第9章 船舶役務用施設	1412	3.2 海浜の目的	1429
1 総説	1412	3.3 性能照査の基本	1430
1.1 船舶のための給水施設	1412	3.4 海浜地形	1430
1.2 その他の船舶役務用施設	1413	3.5 親水性	1431
第10章 移動式施設	1414	3.6 自然環境の保全	1432
1 移動式荷役機械	1414	4 緑地及び広場	1437
1.1 一般	1414	5 旅客上屋	1439
1.2 コンテナヤード内荷役等の用に供する 移動式荷役機械	1415	5.1 一般	1439
1.2.1 一般	1415	5.2 性能照査	1440
1.2.2 性能照査の基本	1415	5.3 附帯設備	1440
1.2.3 自動化・遠隔操作化された移動式荷役 機械における衝突防止のための適切な 機能	1415		